

第1回力量アップセミナーにご参加いただきましてありがとうございました。

参加者の方からのコメント

とてもわかりやすかったです！

今回のセミナー、とても楽しかったです。

今日のことは早速、参考にさせていただきます。

指導員の皆様のスキルアップをはかる

力量アップセミナー開催されました！

「作業所製品センスアップ」をテーマに12月3日から6日にかけて力量アップセミナー（ラッピング&ポップ）が開催されました。のべ45名（ラッピング26名&ポップ19名）の方が参加されました。ラッピングの講師に藪添アドバイザー、ポップの講師に辻井アドバイザーを向かえ、ラッピングとポップの基礎を実習をしながら学びました。

参加者の皆様はなごやか雰囲気の中にも真剣な面持ちで実習に取り組み、講師の説明をメモに取る姿も多数

見られました。

今後、セミナーを継続的に色々な分野で兵庫全域で開催していく予定です。力量アップセミナーに関するご意見ご要望などをぜひ、神戸事務所までお寄せください。



コラム：アメリカ版セルプの挑戦

The Missouri Association of Sheltered Workshop Managers



ズーリー作業所施設長連盟はミズーリー州にある作業所施設長さん方で構成する組織で、利用者の皆さんに尊厳ある労働の機会を創出するために活動しています。作業所と作業所製品の社会的イメージの向上に努め、地域における教育活動や障害者関連法規制定過程への積極的な参加を通して、「障害」に対する社会的理解増進においてリーダーシップを発揮しています。

授産施設への認知度が低く仕事開拓に奔走していたアメリカ1960年代当事と比べ、作業所に対する認知度は高まったものの、経済状況の変化に伴い、企業の規模縮小や手作業の仕事が機械化されたこと、また労働賃金が抑えられるメキシコや中国へ仕事を発注する企業が増えたため、1960年代同様、仕事の確保は困難極まりない状況です。その対応策として、市場にあったオリジナル商品開発とジョブコーチなどを通して利用者の方を一般の職場に橋渡しする取り組みに力をいれました。しかしその結果、高齢の作業所利用者や重度の障害を持った利用者の方が作業所で中心的

な仕事の担い手となり、通常の仕事受託が難しくなりました。

その作業所内の変化に対応するために、ある4人の施設長はそれぞれの施設が得意とした技術を持ち寄り、単独では難しかった仕事の受注に成功しました。また、ある施設の施設長は従来の「作業所製品」の枠を飛び越えペット製品（犬用レインコートなどの装飾品）製造に取り掛かりカリスマ主婦で有名なマーサステュワート社のカタログ販売部門との提携が結ばれたことが報告されています。

作業所での仕事と仲間との交流を通して、高齢の利用者や重度の障害を持つ人々にその人らしく生き生きとした人生を送ってもらいたいー仕事創出のために市場経済に果敢に挑む施設長たちの挑戦はまだまだ続いています。参考資料：<http://www.moworkshops.org>（担当：矢富 恭子ー仕事開拓推進員）